



小松工業株式会社

プロフィール

- ・所在地：静岡県磐田市豊岡6115-5
- ・従業員数：170人
- ・事業内容：輸送用機械器具製造業

※記載の組織情報は令和6年現在のものです。

利用コース情報

- ・訓練コース名：「品質管理実践」
- ・訓練実施時期：令和5年9月15日
- ・受講者数：7人



小松工業株式会社 外観

<事業主の声>

Q：訓練を利用したきっかけを教えてください。

A：当社は、冷間鍛造技術を基軸に精密切削や研削加工を組み合わせた一貫加工体制により、自動車（二輪・四輪・ATV）部品、船外機、電動アシスト自転車、鉄道関連部品等、幅広い分野で部品製造を行っています。当社のような生産体制の中で、不良・クレームゼロに繋げていくためには、より実践に即した教育が必要であると考えていたところ、ポリテクセンターから品質管理実践の案内があり、受講を決めました。

Q：訓練を利用した感想をお聞かせください。

A：若手～中堅層を中心に受講した結果、社内で実施している提案活動及びQCサークル活動で、効果的な提案と行動がみられるようになりました。また、受講者からの講習内容をOJTで広めたこともあり、社員一人ひとりの品質の意識が向上、結果、不良・クレーム件数が減少いたしました。今後は、グループワークで検討した自社への展開方法を活用し、社員一丸となって具体的な改善を図り、更なる品質意識の向上につなげていきたいと考えています。

Q：訓練利用によって得られた成果をお聞かせください。

A：品質管理の基本理念を再確認することで、社員一人ひとりがお互いを尊重し認め合うことで意識の変化が見られ、モチベーションの向上や職場のコミュニケーションが向上しより良い人間関係の構築がみられました。また、仕事に対しても新しい技術や知識を得て成長する姿を確認することができ、当社のさらなる発展に繋がっていると感じています。

<受講者の声>

Q：訓練を受講した感想と今後の抱負をお聞かせください。

A：私が所属している生産1課は主に冷間鍛造工程を担っています。各生産ラインで毎月、工程内不良や不具合の発生状況を報告・共有し、品質の向上に努めているところですが、不良や不具合が一定数発生していました。今回の訓練を通して、具体的な品質管理方法について基礎から学び直すことができ、QC手法も再確認できたため、実際の現場で解決手法を実践し、不良削減を進めていきます。



管理部長 小林さま



受講者 岩崎さま